

だいたいなことをわすれずに

いつでも

いっぱい

ちようせんしよう

学校だより

くすのき

合志市立西合志第一小学校

校長 村田典子



さあ★夏休み (7月24日終業式)



連日の猛暑で、子どもたちの健康、体調管理に留意しながら1学期を終えました。入学式で新1年生を迎え、スタートしたこの3カ月あまり、保護者の皆様地域の皆様方には多くのご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。

運動会本番を“最高のステージ”に仕上げた姿、集会や授業で見せるいきいきした発表の姿、縦割りの中で培われる家族的な関係等々、素晴らしい成長を見せてくれました。



さて、本日の終業式は、本校体育館の日当たりの強さを考慮し、プレイルームで執り行いました。

まず、「学期を振り返って」と題して学年代表の6人の児童が発表しました(写真左下)。

次に私から二つの話をしました。

1 夏休みの意義

学校で学んだことを自分の力でやってみる、挑戦してみる時期です。そのヒントは通知表の先生方のメッセージにあります。しっかり読んで、成長の糧にしましょう。

2 守ってほしい三つのこと

- ① 命を守る
- ② 生活のリズムを守る
- ③ きまりを守る

保健関係では、養護教諭が率いる「つじちげきだん」と称する子どもたちが「U.S.A.」のダンス付き

で、健康面のメッセージをノリノリにリズムカルに伝えました。

長い夏休みは、イベントや楽しみも



多くありますが、危険もはらんでいきます。

本日、熊本県学警連事務局の「県学警連だより」、熊本県教育庁体育保健課の「Safety first」の便りを配布しています。

自分で自分を守る力を付けていくことについても、この機会にご家庭のご指導をお願い致します。

「みんなが主役！授業をつくろう！」～ 授業改革に子どもたちが参画

子どもたちが分かる・楽しい・力がつく授業は教師の永遠のテーマです。本校では、この授業づくりに子どもたちを参画させよう、子どもたちの声を反映させて、よりよい授業を探っていこうと、担当の萩尾教諭が中心になって、子どもたちのワークショップを仕組みました。「こんな授業がいいな」「こんな授業はごめんだな」→「そのために何を



【付箋に書く子どもたち】

する？何がで

きる？」等を考え、付箋で意見を出しました。

「いいな」の授業は、「自分が先生になる」「教え合うことのできる授業」「みんなで授業を進めていく」など。反対に「ごめんだな」の授業は、「先生ばかりがしゃべっている授業」(同様の意見多数)、「みんなが話を聞いてくれない授業」「テストばかりの授業」など。子どもたちの評価を受け止めているところです。

授業の審判は、それを受ける子どもです。この結果を夏休みに分析して、2学期からの授業づくりに活かしていきます。

8月13日(月)～15日(水)は閉庁です

すでに各担任のお便り等でお知らせしていますように、3日間閉庁となります。緊急の場合は、次の連絡先をお願いします。

校長(090-4585-6903) 教頭(090-7530-0248)